

## 令和5年度 階層別選択研修（共同）「ダイバーシティ推進 ～外国人、LGBTQ、障害者等 すべての人々との共生社会のために～」実施要領

- 1 目的 外国人、LGBTQ、障害者等をはじめとした方々の多様な価値観について理解を深め、地域や組織におけるダイバーシティの推進について学ぶ。
- 2 対象 **【県】** 次のいずれかに該当する職員
  - ・令和2年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員
  - ・令和4年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員で、令和5年4月1日現在25歳以上の職員**【市町村】** 主任級以下の職員
- 3 予定人員 県100人・市町村100人
- 4 日程 各所属・各団体で指定する期間  
受講報告の提出を期限内に行えるように、日程を調整し、研修を受講してください。
- 5 手法 eラーニングシステム「e-Lab」（イーラボ）による動画研修  
動画視聴の詳細については、「動画視聴について」を確認してください。
- 6 配信時期 7月10日（月）から8月10日（木）まで（動画時間数 計3時間程度）
- 7 講師 一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事 <sup>たむら たろう</sup> 田村 太郎 氏
- 8 会場 各所属ほか
- 9 準備品 筆記用具、インターネットに接続できるパソコン等の端末、テキスト等研修資料、実施要領、シラバス（研修案内）、「動画視聴について」
- 10 事前・事後課題 この研修では事前課題及び事後課題を実施します。
  - (1) 事前課題 電子申請フォーム (<https://logoform.jp/form/vqMu/285764>)より提出してください。  
**【提出期限】** 8月10日（木）
  - (2) 事後課題 電子申請フォーム (<https://logoform.jp/form/vqMu/285767>)より提出してください。  
**【提出期限】** 8月10日（木）
- 11 受講後
  - (1) 県の研修受講者：①電子申請フォーム (<https://logoform.jp/form/vqMu/285758>)により受講報告（アンケート）を入力し、  
②研修効果確認レポートを県職員担当 岩島宛に電子メールで提出してください。これらの提出をもって修了認定を行います。  
**【提出期限】** 8月10日（木）
  - (2) 市町村の受講者：①電子申請フォーム (<https://logoform.jp/form/vqMu/285758>)により受講報告（アンケート）を入力して提出してください。  
**【提出期限】** 8月10日（木）

## 12 その他

- (1) 県の研修受講者には研修効果確認レポート（A4判1枚程度）を後日提出いただきます。
- (2) 講義動画及びテキストは本研修のみに限り使用し、録画、撮影、スクリーンショット、引用、転用、転載、第三者への共有等はしないでください。
- (3) 業務等の都合によりやむを得ず欠席する場合は、以下のとおり対応してください。  
【県職員用】 所属長確認の上、欠席届を電子申請フォーム  
(<https://logoform.jp/form/vqMu/187195>)により提出してください。  
【市町村職員】 御自身の所属団体の研修担当課へ申し出をしてください。
- (4) 本研修についてのお問合せは、当広域連合までお願いします。

担当：人材開発グループ県職員担当 岩島【E-mail】 <a href="mailto:iwashima@hitozukuri.or.jp">iwashima@hitozukuri.or.jp</a> 市町村職員担当 渡辺【E-mail】 <a href="mailto:a.watanabe@hitozukuri.or.jp">a.watanabe@hitozukuri.or.jp</a> 【電 話】 048-664-6681（県職員担当） 048-664-6684（市町村職員担当） 【FAX】 048-664-6667
--

## 階層別選択研修（共同）

研修名	中級【コミュニケーション分野】	受講者の声	
	ダイバーシティ推進 ～外国人、LGBTQ、障害者等 すべての人々との共生社会のために～	ダイバーシティという言葉にここまで深い意味があり考えるべきことがあるのだと感じられ、多分野において今後の課題が発見できました。ただ業務をこなすのではなく、幅広い視野を持って課題解決しながら仕事をしようという良いモチベーションが持てました。	
講師	一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事 田村 太郎	実施日数・時間	計3時間程度
		手法	動画研修
		会場	各所属ほか
		市町村研修コード	224
ねらい	外国人、LGBTQ、障害者等をはじめとした方々の多様な価値観について理解を深め、地域や組織におけるダイバーシティの推進について学びます。		
対象者	<p>【県】 次のいずれかに該当する職員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員</li> <li>令和4年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員で、令和5年4月1日現在25歳以上の職員</li> </ul> <p>なお、追加募集を行う場合は、上記以外で受講を希望する職員について職位を問わず対象者とする。</p> <p>【市町村】 主任級以下の職員</p> <p>なお、上記以外で受講を希望する職員については、職位を問わず対象者とする。</p> <p>ただし、応募者が多数の場合は、主事・技師・主任級の職員を優先する。</p>		
実施日	研修生に別途通知		
予定人員	県100人・市町村100人		
学 習 計 画			
カリキュラム	動画時間数		内 容
	時	分	
「ちがい」に寛容な社会が求められる理由	3	00	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ダイバーシティ」とは？</li> <li>持続可能な社会の形成とダイバーシティ</li> </ul>
地域におけるダイバーシティ推進の意義			<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な地域づくりとダイバーシティ</li> <li>「排除」から「包摂」への転換をめざして</li> <li>多様な担い手が活躍できる地域の重要性</li> </ul>
知っておきたい分野別の取り組み			<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者／セクシャルマイノリティ(LGBTQ)／多文化共生</li> </ul>
ダイバーシティに配慮した住民施策とコミュニケーション			<ul style="list-style-type: none"> <li>住民施策におけるポイント</li> <li>コミュニケーションにおけるポイント、手法</li> </ul>
組織におけるダイバーシティ推進の意義			<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な組織づくりとダイバーシティ推進</li> <li>ダイバーシティ推進のための3つの視点</li> </ul>
ダイバーシティを活かした組織運営の方法と課題			<ul style="list-style-type: none"> <li>「2つの誤解」と求められる「3つの多様性」</li> <li>異文化理解とコミュニケーションの視点</li> <li>行政に期待される3つの側面</li> </ul>
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前課題、事後課題があります。</li> <li>県職員：人事委員会事務局が実施する主査級昇任試験の受験要件となる選択研修です。県職員のみ受講後は研修効果確認レポートの提出が必要です。</li> </ul>		